

業績予想の修正内容

前回発表	経常利益（通期）	〔 A 〕	連結	60 億円程度	/	個別	30 億円程度
------	----------	-------	----	---------	---	----	---------

修正項目	泊発電所 1 号機蒸気発生器 1 次冷却材入口管台溶接部取替	160 億円程度
	燃料価格高騰	530 億円程度
	電気料金改定による燃料費調整額の増 1	100 億円程度
	国内炭追加購入	60 億円程度
	湯水による火力燃料焼き増し	60 億円程度
	合計	〔 B 〕 590 億円程度

注) は、収支悪化を示す。

今回発表	経常利益（通期）	〔 A + B 〕	連結	530 億円程度	/	個別	560 億円程度
------	----------	-----------	----	----------	---	----	----------

- 1 下記【主な一過性要因】 お客さまの負担を軽減する目的から、10月～12月料金への燃料費調整の適用を見送り、9月料金を据え置くことによる影響を含む。

業績悪化の背景

上記の通り、平成 21 年 3 月期の通期業績予想は、大幅な経常損失となる見通しであります。その主な背景は、泊発電所蒸気発生器 1 次冷却材入口管台溶接部の補修など、一過性の要因によるものであります。

【主な一過性要因】

泊発電所蒸気発生器 1 次冷却材入口管台溶接部補修 [1 号機 160 億円程度、2 号機 230 億円程度]	390 億円程度
お客さまの負担を軽減する目的から、10月～12月料金への燃料費調整の適用を見送り、9月料金を据え置くことによる影響	80 億円程度
湯水による火力燃料焼き増し	60 億円程度
合計	530 億円程度

注) は、収支悪化を示す。

配当予想

平成 21 年 3 月期の業績予想は、大幅な経常損失となる見通しではありますが、その要因は一過性であることから、配当につきましては、安定配当維持の基本方針通り年間 60 円配当を継続する考えであります。